

# 地域への想いを込めて

【平成29年県議会2月定例会報告】神奈川県議会議員 <sup>よしなか</sup> おざわ良央



## ① 次期東京五輪を県の新たな飛躍への絶好の機会とすべき。

**おざわ** 前回五輪は世の中を大きく変革する象徴的な大会となったが、

**知事** 次期五輪は、国際観光地、先進産業の集積地としての神奈川を世界に発信する絶好の機会。そこで「神奈川ビジョン2020」を策定、「神奈川モデル」の取組みを加速化、本県の持つポテンシャルを更に高めます。

## ② 県西地域活性化プロジェクトについて

**おざわ** “(仮)未病いやしの里センター”第一期がオープンするが、

**知事** センターを核に自然や食、運動、いや

しの拠点等地域資源をネットワーク化し、回遊性を高め、県西地域の活性化を図ります。

## ③ 鳥獣被害対策について

**おざわ** 県は平塚に「鳥獣被害対策支援センター」を新設するが、地域への支援を問う。

**知事** 「支援センター」には野生鳥獣、農林業などの専門職員を集中配置、地域の実情に応じた専門的、広域的な技術支援や、リーダーの育成等を行い、サルやイノシシ、シカ等の鳥獣被害を軽減したい。

**おざわ** 地元農家は、20年来の鳥獣被害の深刻な状況が変わらない!と悲痛な思い。被害根絶の覚悟を望む。

## ④ 介護人材の確保や定着について

**おざわ** 介護離職者や子育て中の女性の活用等必要。県の対応を問う。

**知事** 全国に先駆け、人材バンク事業を開始、再就職準備金活用、復職希望者研修や、出産・育児休業復職者の短時間勤務の支援等、介護人材確保に全力を尽くします。

## ⑤ 山王川河川整備の促進

**おざわ** 小田原市内住宅密集地を流れる山王川は、早急な治水安全度の向上が求められるが、**県土整備局長** 護岸整備の約半分は完了。小田急線橋梁の架け替えの着手を急ぐ。また護岸補修や堆積土砂除去等、維持管理に努めます。

## ⑥ 個人商店の振興や商店街の活性化について

**おざわ** 個人商店、ひいては商店街が衰退し、「買い物難民」現象が目立つ。地域住民の為にも、支援を強化すべき。

**産業労働局長** 個人商店等に商品開発やPR、経営指導等支援。今後は個人商店のやる気や商店街の魅力を高めていきたい。

## ⑦ 社会福祉法人制度改革への対応

**おざわ** 本年4月、社会福祉法が改正され、

平成二十九年県議会二月定例会にて、県議として、二回目の一般質問をいたしました。

小田原市や県西地域への熱い想いを込めて

黒岩知事や各局長へ質問した概要をご報告致します。



神奈川県議会議員

おざわ良央

よしなか

小規模法人には負担も大きい。県の対応と改革の県民メリットは。

**保健福祉局長** 丁寧な相談支援、運営改善への指導等で、制度改革の定着を図る。県民の福祉施設の選択時等に役立ち、地域福祉サービスが一層充実するよう取り組みます。

企画制作・おざわ事務所/TEL0465-35-0001